作成日　2026 年 11 月 2 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品番号及び製品名：Grafitack GEF(M) series

色：GEF(M)11, GEF(M)13, GEF(M)15, GEF(M)17, GEF(M)33, GEF(M)53, GEF(M)55, GEF(M)56, GEF(M)57, GEF(M)59

会社名　・製造元会社名：Grafityp Selfadhesive Products N.V.

・住所：Centrum-Zuid 1539, 3530 Houthalen, Belgium

・輸入総販売元：株式会社ケイエヌトレーディング

・住所：大阪市中央区玉造１丁目１３－４　小林ビル５Ｆ

・TEL：06-6768-3744　・FAX：06-6768-3756

2. 危険有害性の要約

・本製品は、EU 指令 1999/45/EG に基づき、危険物には分類されません。

・物理的・化学的危険性：特段の危険性は知られていません。熱分解により、刺激性のある煙が発生する可能性があります。分解生成物については、10 を参照してください。

・GHS 分類基準に基づき、本製品には特別な表示や分類は必要ありません。これは、物質または混合物の分類、表示、および包装に関する EC 規則第 1272/2008 号に準拠しています。

3. 組成及び成分情報

・製剤の化学的性質：ポリオレフィンを主成分とする製剤/添加物の存在

・本製品には、REACH 規則（EC 1907/2006）第 59 条に基づく候補リストに記載されている以下の物質が、0.1%（重量比）を超える濃度で含まれています。

スルホクロム酸鉛（黄）、CAS 番号 1344-37-2、EC 番号 215-693-7

・本製品に有害成分が含まれている場合、危険表示および R ステートメントの全文は 16 に記載されています。

4. 応急措置

・目に入った場合：１５分以上流水で洗い流す。刺激がある場合医師の診断を受けさせる。

・皮膚に貼り付いた時：水で洗い流す。刺激がある時は医師の診断を受けさせる。

・吸い込んだとき：新鮮な空気の場所に移動させる。刺激が続く場合は、医師の診察を受ける。

・飲み込んだとき：可能性は低い。刺激がある場合は、医師の診察を受ける。

5.火災時の措置

・消火器：水系、粉末、二酸化炭素、泡など
・消火方法：消火剤を用い、風上から噴射する。
・保護具：保護具（呼吸用マスク、耐熱防火服など）を着用すること。
・特有の危険性：酸素が十分にある場合は二酸化炭素と水蒸気が生成される。酸素が不足している場合は、主に一酸化炭素や煤（すす）のほか、アルデヒド類、ケトン類、炭化水素類、揮発性脂肪酸といった熱分解生成物が発生する。

6. 漏出時の措置

・人体に対する注意事項：特になし（固体）
・環境に対する注意事項：特になし（固体）
・回復する方法：特になし（固体）

7. 取扱い及び保管上の注意

・取り扱い（対策）：取り扱い場所周辺では火気を避け、静電気による発火の火花が発生しないよう注意してください。口に直接入れないでください。摩擦による静電気に注意してください。高温では収縮や形状の劣化、低温では材料の硬化や破損の原因となるため、常温で取り扱うようにしてください。輸送および保管中は、落下や破損を防ぐため、製品をしっかりと固定してください。
・保管（対策）：常に元の包装と保護キャップ（できれば垂直に）を付けた状態で、10～20℃の温度、相対湿度 50%で保管してください。これらの条件下では、製品は 2 年間保管できます。直射日光、湿気、急激な温度変化、火気を避けてください。
・包装材：紙、PE など

8. 暴露防止及び保護措置

・管理濃度：該当なし
・許容濃度：該当なし
・保護具：該当なし。火災の際は、呼吸用保護マスク、保護メガネ、保護手袋、保護衣を着用してください。

9. 物理的及び化学的性質

・物理的状態：固体
・色：多様
・比重： 1.4

・水への溶解性：該当なし
・形状：シート状
・臭気：ほとんどなし
・融点：155～165℃
・発火温度：350℃超
・密度：0.89～0.91 g/cm³（23℃）

10. 安定性及び反応性
・安定性：通常の取り扱い条件下では安定
・反応性：データなし
・加熱時の挙動：酸素が存在する場合：二酸化炭素および水蒸気が生成される。 酸素が不足している場合：主に一酸化炭素、すす、および以下の分解生成物（アルデヒド、ケトン、炭化水素、揮発性脂肪酸）が生成される。

11. 有害性情報
・急性毒性：該当なし
・刺激の性質：該当なし

12. 環境影響情報
・環境に対する有害な影響は知られていません（固体製品）。

13. 廃棄上の注意
・燃焼プロセス：酸素が十分に供給される場合は二酸化炭素と水蒸気が生成されます。酸素が不足している場合は、主に一酸化炭素やすすのほか、アルデヒド、ケトン、炭化水素、揮発性脂肪酸といった分解生成物が生じます。本材料を焼却する際は、適切なガス処理設備を備えた装置を使用してください。
・本材料を埋め立て処分する際は、各国の規制に従ってください。
・本材料の廃棄は、産業廃棄物の処理許可を持つ業者、または地域の廃棄物処理機関に依頼して行うことができます。

14. 輸送上の注意
・本製品の輸送にあたり、特別な措置を講じる必要はありません。

15. 適用法令
・破壊されたプラスチックの処理に関する現地の法律。

16. その他の情報

3「構成成分・成分に関する情報」に記載されている危険有害性記号およびR フレーズ（R-statements）の全文は以下の通りです。

-T - 有毒

-N - 環境有害性

-R33 - 蓄積性の危険あり

-R45 - がんを引き起こす可能性がある

-R50/53 - 水生生物に対して非常に有毒であり、長期的な悪影響を及ぼす可能性がある

-R61 - 胎児に悪影響を及ぼす可能性がある

-R62 - 生殖能力を損なう危険性がある

・使用上の制限：なし

・履歴：2026 年 1 月 28 日公開

・以前の公開：2010 年 2 月 21 日- 2021 年 1 月 20 日

バージョン：3

Grafityp は、クロム酸鉛を含まない代替原材料を模索しています。

・この安全データシートの内容は、入手可能な資料および情報に基づいています。物理的または化学的性質、あるいは危険性について、当社はいかなる保証もいたしません。取り扱いに関する注意事項は、通常の取り扱いを前提としています。特別な場合には、適切な対策を講じてください。

・この安全データシートは、化学物質の登録、評価、認可および制限に関する 2006 年 12 月 18 日の欧州議会および理事会規則第 1907/2006 号（REACH 規則）に準拠しています。